



倉敷未来プロジェクト「ファッションショー in イオンモール倉敷」



オープンキャンパスにて



運動体験部



布に刺繍をする工場での体験（宿泊研修にて）



倉敷市立短期大学 子どもの劇場（市内の保育園にて）



目次

同窓会会長あいさつ、学長あいさつ	2
同窓生の近況・活躍、新入会員あいさつ	3
くらたんの近況報告	4
退職される先生方	4～5
担任から卒業生・修了生へはなむけの言葉	5
学生と教職員の活躍	6
令和5年度卒業生の進路状況	7
新任教職員あいさつ、その他の異動、編集後記	8

発行／倉敷市立短期大学同窓会

倉敷市児島稗田町 160 番地

電話 (086) 473-1860 (代)

E-mail: info@kurashiki-cu.ac.jp

木綿花に寄せて



保育科第二部15期生
同窓会会長 榎田 政美

今年は12月になって、ようやく紅い葉が山並みに交じってきました。先日、車で出かけた時、雑木林が続く景色の中に、オレンジ色の実が目にとび込み、「あっ、カラス瓜・・・」と、とっさに言葉がでました。すると同乗していた娘が「え？カラスウリ？なにそれ」と言うのです。秋の童謡「まっかな秋」のカラス瓜を初めて見たというのでびっくりしました。

これまで保育の中で出会う子どもたちの姿に、魅了され続けてきたと同時に、保育を通して自然の営みにも惹かれるようになりました。

春はお花見、レンゲ摘み、ヨモギの新芽をつんで草餅、柏の葉は柏餅づくり。夏は野菜の栽培、カブトムシ、セミ、鈴虫等の飼育。秋は落ち葉や木の実、数珠玉、オナモミ、どんぐりの他、赤や黄の木の実

は、子どもたちの遊びをすてきに彩ります。かつては園でインコやカメ、ウサギや烏骨鶏、孔雀までも飼育していました。子どもたちと一緒に経験してきたことが、自分の生活につながっていることも多々あります。秋の散歩で子どもたちと一緒に見たカラス瓜のオレンジ色は、大切な保育の一場面としていつまでも心に残っています。

昨今は、保育専門職の資格を取得しながらも入職しない人が増えていると聞きます。未来を担う子どもの成長を見守り、支える保育の仕事は、保育者自身も学びながら成長することのできるすばらしい仕事だと実感しています。倉短で学ばれた皆さんと保育の場で出会い語り合える日を楽しみにしています。

倉短も移転の準備が進んでいることをお聞きしていますが、この倉敷の保育の文化、倉敷の服飾の文化を学んでこられた同窓生の皆さんが「はばたくつばさ」で全国に羽ばたいて思いの詰まった種を蒔く人になってほしいと思います。

創立60周年のキャンパス移転の現況



学長 安達 励 人

前号でもお知らせした本学キャンパスの児島公園（児島駅前）への移転計画は、この1年の間に着実に進展しました。

まずは、建物などハード面のイメージが徐々にはっきりしてきました。現在の児島公園を再整備し、その一部に「市立短期大学棟（本校舎）」と、「（仮称）地域交流スクエア棟」および外構施設を新たに建築します。さらに、隣接する「倉敷ファッションセンター」を本学を含めた複合施設として改修することが決まっています。

次に、学内では教育や社会活動、大学運営などのソフト面の検討に入っています。大学の最も本質的な機能は、言うまでもなく学生の成長を促すことですので、カリキュラム等の改善を段階的に図っていく考えです。さらに、公立短期大学には、地域の産

業や文化、生活の充実・発展に資する教育研究の質化とともに、地域の高等教育へのアクセス確保、地域活性化への寄与、行政課題の解決などの役割を担うことが社会から強く求められています。昨年度、地元企業のご協力で「第1回くらたん合同就職説明会」を開催したのは、その対策の一例です。今後も、「子育てするなら倉敷で」という施策の推進ならびに「せんいのまち児島」の魅力化のため、教育の質の向上に基づいた産官学の連携をさらに強化していきます。

令和7年春の新入生が専攻科まで進めば、最終学年を新学舎で過ごすことになりますので、教職員だけでなく学生たちにとってもキャンパス移転はもはやよそ事ではありません。移転の年は、折しも本学の創立60周年、専攻科設置25周年の節目にあたります。勢い胸が高鳴ると同時に、期待と責任の重さにあらためて身の引き締まる思いです。

同窓生の近況・活躍



保育科第二部12期生 沖長 とく子
短大を卒業して36年が経ちました。私は、卒業後一般企業に就職をし、結局保育の仕事にはつかずに今に至っております。

今思えば、学生の時より誰かの役に立つことが好きで、学生会や各イベントの企画調整実施などをさせていただき、自分で言うのもなんですが、企業に入ってから職員の相談役やムードメーカー的な役割を担うことが多く、昨年まで民生委員として地域の方々の支援に携わりました。今は少し時間ができましたので、数年後に学び舎が移転する前に、同窓会を実施したいと思い、この度、紙面にて呼びかけをさせていただくこととなりました。

第12期生 集まれ!

私たちは、保育科第二部12期生です。この度、私たちが巣立った学び舎の移転にともない、初の同窓会を企画したいと考え、県内在住の数名で、3年前から活動しておりますがなかなか前進しておりません。同窓生のみなさん、ぜひ皆で会いたい思い出を語りましょう。現在の実行委員(沖長とく子、森山えり子、本田美和、高屋久江、矢野旬一)

連絡先

矢野旬一 mail: yano@shiohaze.or.jp
社会福祉法人しおかぜ
HP <https://www.shiohaze-group.co.jp/>
柏野(旧姓本田) 美和
TEL (086) 472-0821
(有) ヒロハウス 18時以降



矢野 上田(旧姓森山) 柏野(旧姓本田)

※「木綿花」の誌面を使って同窓会の呼びかけをしたいと思われる方は、事務局へご連絡ください。

株式会社コーコス信岡 企画部 開発課 安木 啓晶

倉敷市立短期大学 服飾美術学科を卒業後、広島県福山市に本社を置く作業服メーカーに勤め、企画に携わる仕事をしています。

入社1年目からの3年間はパタンナーを勤め、実践を交えながら衣服の構造を学び、より社会で活かせるスキルを身につけながら業務に励んでいました。そして4年目からは現在の企画部にて商品の企画をしています。

主な業務内容は、サンプル作成、機能検証、生地開発(生地メーカー共同)、パッケージデザイン等、製品自体の企画は勿論ですが、素材の開発から生地や製品になった時の機能の検証、また販促として重



要になるパッケージのデザインまで一貫して幅広く携わっています。

倉短時代の素材、縫製、実験、デザイン等の幅広い分野を学んでいたことが基礎となり、現在に活きていると日々実感しています。

まだまだ駆け出しではありますがこれからも日々精進し、世の方々のためになる、そんな商品を開発していけるようにしたいです。

同窓会への新入会



保育学科第41期生
小笹 華歩

倉短へ入学し、最初は不安も多かったです。しかし、コロナ禍に比べ先輩方との交流が増え、実習についてのお話を直接聞かせて頂く機会もあったため安心して実習に臨むことができました。実習では仲間と助け合い支え合いながら取り組み、実際に子どもと関わる中でこれまでの学びが活かされたときには、改めて保育者という職業にやりがいを感じました。

倉短での2年間の学びは私の理想の保育者像をより明確にしてくれたと感じています。倉短での多くの学びを大切にし、私の理想の保育者像である"どんな時でも子どもの心に寄り添うことのできる保育者"になれるよう日々努めていきたいと思っています。



服飾美術学科第30期生
桒井 美紅

私はこの2年間で学生会の会長や大学祭の実行委員、卒業展示といった様々なことに関わってきました。このことから被服に関した知識だけではなく事務業務についてもこの学校で得た力だと感じています。また、選択する授業によっては衣服の製作やillustratorなど各々の関心のあるものの力を身につけています。その集大成として現在は卒業展示に取り組んでおります。所属するゼミによって製作するものが大きく異なり、お互いにどのようなものが出来上がるのか楽しみにしています。今年は私も含め多くの人が進学という選択をしました。大変なことも多くありましたが、この学校で得た知識をもとにさらに活躍の場を増やしていきたいと考えています。

第65回 中・四国保育学生研究大会に参加して

中四国地方にある保育者養成校から学生が集い、研究・実技発表を行う中・四国保育学生研究大会。その第65回大会が、12月1日に広島女学院大学で開催されました。本学保育学科からは、平岡敦子先生のゼミ生5名と倉敷市立短大子どもの劇場のメンバーが参加しました。平岡ゼミは令和6年能登半島地震の被災地を調査し、「被災地の劣悪な環境における子ども支援～過去の災害を教訓にして～」と題して発表しました。子どもの劇場は、伴奏つき歌遊び、応答型パネルシアター、日本昔話の人形劇を上演し、アンコールにも応えました。他校の学生の拍手や歓声を受け、講評担当の先生方からご助言を頂き、更なる展開の契機となる遠征でした。

(報告：浅野泰昌)



イオンモール倉敷でファッションショー開催

本年度の「倉敷未来プロジェクト」では、産学官連携健康イベント「イオンdeくら★けん」との共同開催の中で、「倉敷市立短大ファッションショールumos 一輝くー in イオンモール倉敷」を行いました。自分たちで作り上げた26着の衣装を身にまとい、日頃の活動の成果を発表しました。昨年度に引き続き学外、しかも今回は商業集積地でのファッションショー開催ということで地域へのインパクトも大きく、倉敷市内での「くらたん」の存在感を大いにアピールできました。



受賞関係としては、(一社)日本テキスタイルデザイン協会主催の学生作品公募「mimi-award2024」に本学学生がグランプリ、準グランプリをワンツーフィニッシュする功績などがありました。

(報告：岩崎之勇)

退職される先生方

「心躍らせた岡山・倉敷に

存続する“ものづくり”の調査」 松内 紀之



倉敷市立短期大学で17年間お世話になりましたが、今年3月で退職することになりました。

この間、指導を担当致しました数々の「卒業研究」と「特別研究」は、鮮明に思い出されます。所属ゼミ生の皆さんには、現地調査を基本とし各種資料収集や歴史調査そして、作品制作までを行ってもらいました。熱心な学生に恵まれ、岡山・倉敷に存続するものづくりを共に心躍らせながら調査してきました。ステンドグラス、移動販売車、水島の屋外彫刻、寄木下駄など今や私の授業の定番となったテーマもあります。

4月より大阪産業大学デザイン工学部 建築環境デザイン学科 ものデザインコースに勤務いたします。卒業生の皆さんと倉敷市立短期大学のご発展を

お祈りしております。

「共に学んだ地域活動」 武永 佳奈



私が倉敷に着任したのはコロナ禍で、大学祭などの学生活動がストップしていました。担当となったファッションショーは、開催できない期間にやり方が引き継がれず、開催方法を模索するのに苦労しました。廊下を使った映像記録から再開し、徐々にコロナ以前の形を取り戻していきました。地域企業と連携し作成した作品の登場、児島のゆるキャラであるGパンだ君の出演、高校との連携開催など思い出深いです。学外でのショーや展示の機会も増え、地域、教職員の皆様と一緒にイベントを乗り越えた学生に支えられた日々でした。皆さんと一緒に学び成長できたことが嬉しいです。今後は遠方からにはなりますが、皆様のご多幸と倉敷市立短期大学の益々の発展をお祈りしております。

はなむけの言葉

保育学科担任 宮崎 正宇
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの旅立ちを心から祝福いたします。

さて、本学での2年間の学びはいかがでしたか。振り返れば授業だけでなく、実習や課外活動、行事等、充実した日々を過ごされたのではないのでしょうか。

入学時に電車の例え話をしたのを覚えていますか。個性豊かな仲間とともに乗った電車は卒業とともに、それぞれの新たな目的地（進路）に向けて出発します。これから先も人生のレールは続きますが、本学での学びを糧に飛躍してください。皆さんはその力が十分にありますので、自信を持って挑戦してください。そして、たまには近況を報告してください。今後のご活躍を応援しています。

専攻科保育臨床専攻担任 浅野 泰昌

専攻科保育臨床専攻の令和6年度修了生の皆さん、おめでとうございます。皆さんの晴れの門出を心からお祝します。着任早々の令和4年4月1日、倉敷市立短期大学で初めての授業をしたのが、当時本科2年生の皆さんでした。皆さんはいつでも僕にとっての倉短の先輩でした。担任を務めることができたのも、皆さんと副担任の三川美幸先生の御蔭で

「思い出深い50周年記念式典」 三川 美幸

本学へ着任して10年以上。50周年記念式典で音楽面での学生の活躍が、特に思い出深いです。私は金管楽器に不慣れなので、学生から音域などを教えてもらいつつ、単純な和音構成による曲を作りファンファーレに臨みました。学生はベルアップ奏法で華やかな音を響かせ、オープニングを見事に飾ってくれました。

次に取り組んだのが合唱です。本学の学歌は美しいハーモニーを持つ2重唱の曲ですが、通常、単旋律で歌っています。積極的に自分の声の音域を活かしてパート分けを行い、練習に励みました。また「倉敷市歌」では、本来は無いスネアドラムを加えた特別編成によって軽やかに演奏。学生の奏でる音色は素直でのびやかでした。そして緊張がとけると、「頑張ったよ！」と伝えるように微笑みを各々向けてくれる瞬間を嬉しく感じました。

この学び舎に明るく楽しい音色が響き続けることを心から願っております。

す。本当にありがとうございました。コロナ禍を乗り越え、授業、実習、研究、保育所等での勤務、ア



わらべうたの授業

ルバイト、部活動など、皆さんが青春の日々を燃やし、ひたむきに取り組んだ全てのことが、今につながっています。挫折ですら、次の飛躍の糧になります。皆さんの輝かしい未来をいつでも応援しています。

服飾美術学科担任 乾 真理子

穏やかな日常の中で、友達と支えあい、刺激あいながら成長していく姿がとても印象的な学年でした。長いような短い短大生活で、好きなことに邁進し、初めてで不慣れなことも苦手なことも少しずつ克服しながら、やり遂げた力は必ず将来に役に立つと思います。どんな道を選んでも、皆さんなら素晴らしい未来を切り開いていけると信じています。

卒業後も自分の夢や目標に向かって進んでいく姿を、心から応援しています。頑張ってください！

専攻科服飾美術専攻担任 乾 真理子

ご卒業おめでとうございます。専攻科での2年間、様々な個性がぶつかり合い、また共鳴し、皆さんそれぞれがユニークな存在であることを認め合いながら過ごされていたのではないのでしょうか。その過程で、思い通りにいかないことも多かったことと思います。しかし、皆さんはその壁を乗り越え、ここにたどり着きました。それぞれが、自分のペースで、一歩ずつ歩んできた結果です。これから社会に出て、さまざまな挑戦が待ち受けているでしょう。しかし、何があっても大丈夫です。大学での経験、友人たちとの絆、そしてそれぞれの個性を信じて、未来を切り拓いていってください。最後に、これからの人生が皆さんにとって素晴らしいものであるよう、心から祈っています。



宿泊研修に出発

学生と教職員の活躍

学生と教職員の活躍をご紹介します。スペースの都合で掲載は一部のみですが、全体は年度末に本学ウェブサイトで公表される『年報』をご覧ください。

〇学生の主な活躍

【表彰】

- ・令和5年度「全国保育士養成協議会会長賞」小川真穂（現在 社会福祉法人みどり会保育士）
- ・「男女共同参画マンガ展」（倉敷市男女共同参画課）「優良賞」保育学科2年小松絵里香
- ・令和5年度卒業・修了制作展「倉敷市長賞」専攻科服飾美術専攻 賀来竜ノ輔「Border 男女の境目（border）」
- ・同「服飾美術学科賞」専攻科服飾美術専攻 若狭健太郎「いま正座するということ」
- ・（一社）日本テキスタイルデザイン協会主催の学生作品公募「mimi-award2024」グランプリ 服飾美術学科2年牧野紗千、準グランプリ 専攻科服飾美術専攻2年大西恋菜

【授業・ゼミ】

- ・「新しい学生服の提案」…服飾美術学科2年生がデニム学演習の授業を通じ、オゴー産業株式会社と協力し、新しいニーズに合った学生服の提案や廃棄となる学生服素材を使った衣装制作を行いました。
- ・11月10日（日）・17日（日）の2日間、専攻科保育臨床専攻1年生が、倉敷市保健所の検診における一時預かり業務に参加しました。

【サークル・イベント等】

- ・「岡山パリ祭 2024 衣装提供」…服飾美術学科有志により、学生服素材をリデザインした衣装を、岡山パリ祭 2024 に出演する岡山出身の6名の歌手の衣装として提供しました。
- ・「ジャパンデニムファッションコレクション」…11月15日（金）にラヴィール岡山で開催されたジャパンデニムコレクションのオープニングとして服飾美術学科で製作したデニム衣装によるファッションショーを披露しました。
- ・「ファッションショー in イオンモール倉敷」…倉敷未来プロジェクトの一環として地域繊維産業を盛り上げるため、10月26日（土）にイオンモール倉敷でファッションショーを開催しました。

- ・8月17日（土）に、保育学科2年佐藤愛衣さんと専攻科保育臨床専攻1年岸瑞稀さんが、「倉敷市こどもまんなかいけんぷらす会」へ参加しました。
- ・児島署と児島防犯連合会からパトカーに取り付けるマグネットシートのデザインを依頼され、服飾美術学科1年井開結子さんの作品が採用されました。マダコ・瀬戸大橋・ジーンズ・学生服・



- ・競艇用ボートなど、児島地区の特産品を盛り込んでおり、明るい児島をイメージした配色も評価されました。
- ・服飾美術学科2年山崎幸恵さんが、玉島映画製作委員会主催の「たましまトリマー物語〜君が笑うと僕は笑う〜」で、主役である新米トリマー役に抜擢されました。



〇教職員の主な活躍

両学科の教員とも、公開講座や大学連携講座、幼稚園教諭免許状更新講習、保育士試験準備研修会をはじめとする各種講座・講演や、児童館や公民館、放課後児童クラブ等での研修・ワークショップ、高等学校等での出張授業、倉敷市を中心とする行政審議会・協議会・委員会等で、数多くの社会活動を活発に行いました。

【社会貢献活動】

- ・保育学科児玉太一准教授が、倉敷市クルクルセンター夏季講座講師、岡山県私立幼稚園連盟「新任教員研修会」講師、岡山県歯科医師会「歯科保健図画ポスターコンクール」審査員を務めました。

令和5年度 倉敷市立短期大学 卒業者の進路状況報告

1 就職状況一覧表

令和6年3月31日現在

	保 育 学 科	服飾美術学科	専攻科保育臨床専攻	専攻科服飾美術専攻	合 計
卒 業 予 定 者 数	53 名 (0)	48 名 (5)	7 名 (0)	6 名 (2)	114 名 (7)
就 職 内 定 者 数	41 名 (0)	25 名 (2)	7 名 (0)	6 名 (2)	79 名 (4)
進 学 決 定 者 数	11 名 (0)	15 名 (2)	0 名 (0)	0 名 (0)	26 名 (2)

2 就職先一覧

※() = 内 男性

①保育学科

公務員	大阪市／四国中央市／西条市／串本町
私立 幼稚園	(学)敬愛学園敬愛幼稚園【倉敷市】／(学)西花畑学園【福岡市】
私立 保育所	(福)倉敷福祉事業会・(福)粒栄会鳥の子保育園・(福)祥求会あしたか保育園・(福)きつしょう会 かめやま保育園・(福)興福会黒崎保育園②(福)若竹の園・(福)ナザレ会聖和保育園・(福)和福 社会庄保育園【倉敷市】／(福)みどり会みどり町保育園・(福)岡山幸風会竜之口保育園・(福)佳 日会若草幼児舎・(福)笹ヶ瀬福祉会宝島保育園【岡山市】／(株)アイグラン【福山市】／(福)光 彩会和光園保育所【府中市】／(福)清和会めぐみ保育園【愛媛県西条市】／(福)伊予三島福祉 施設協会東保育園【四国中央市】／(福)豊原福祉会豊原保育所【香川県宇多津町】／(福)あす なる会あすなる第二保育園【出雲市】／(福)聖徳会【大阪市】／(株)モード・ブランニング・ジャパ ン雲母保育園【東京都】
私立 認定こども園等	(福)向陽会西田認定こども園・(福)岡山厚生会ひまわり認定こども園【倉敷市】／(学)広島聖公 会学園認定こども園聖モニカ幼稚園【広島市】／(福)不動園あみの夢こども園【京丹後市】
公立〔保育所・幼稚園及び認定 こども園等の嘱託・臨時・講師〕	倉敷市会計年度②／相生市社会福祉事業団
施設	(福)めやす箱児童発達支援センターめやすばこ・(福)P.P.P②【倉敷市】／NPO法人color児発達 支援センターくるーる【高梁市】
企業・その他	NPO法人くらしき放課後児童クラブ支援センターとみた児童クラブ【倉敷市】／リーガロイヤルホ テル新居浜【新居浜市】／(株)シーキュー・アメニックス生駒山山上遊園地【生駒市】

②服飾美術学科

服飾関連企業	豊和(株)・都ユニリース(株)・(株)ARCREED BEAMS倉敷店・ユニクロ倉敷児島店【倉敷市】／ (株)オンワード樫山【岡山県内】／(株)カイトックホールディングス②・はるやま商事(株)・ (株)ANAP・(株)CAN・(株)ワールドインダストリーファブリック【岡山市】／(株)ソーイングボックス 【館林市】／(株)JINGNI
その他の企業	倉敷ステーションホテル【倉敷市】／(株)ベクトル②・ティンクルティンクル岡山店【岡山市】／大 黒天物産(株)【高松市】／(株)マルニ木工【広島市】／(株)バルコス【倉吉市】／(株)JR西日本交 通サービス【尼崎市】／日研トータルソーシング(株)【東京都】／nana's green tea
企業以外	香川県信用組合【高松市】／鳥取中部ふるさと広域連合【鳥取県北栄町】

③専攻科保育臨床専攻

公務員	倉敷市／福山市／独立行政法人国立病院機構中国・四国グループ／今治市
私立 保育所	(福)倉敷福祉事業会【倉敷市】
私立 認定こども園等	(福)愛育会認定こども園のぞみ保育園【倉敷市】
企業・その他	あさひ製菓(株)【山口県柳井市】

④専攻科服飾美術専攻

服飾関連企業	(株)はるやまホールディングス【岡山市】／妙中パイル織物(株)【和歌山県橋本市】
その他の企業	(株)宝商事【岡山市】／大西商店印刷部【備前市】／WED(株)【東京都】／リアルティ(株)【横浜 市】

3 進学先一覧

①保育学科

	倉敷市立短期大学⑨【倉敷市】／香川大学②【高松市】
--	---------------------------

②服飾美術学科

	倉敷市立短期大学⑪【倉敷市】／香川大学【高松市】／大阪芸術大学【大阪府河南町】／京都 ノートルダム女子大学【京都市】／武蔵野美術大学通信教育課程デザイン情報学科【武蔵野 市】
--	---

新任あいさつ



保育学科
准教授 児玉 太一

4月より本学保育学科に着任いたしました児玉太一と申します。専門は幼児造形や美術教育で、自身も作品制作を続けながら国内外の展覧会に参加してきました。京都から岡山に移り住んで7年目を迎えます。京都ではデザインや初等教育の教員養成課程での指導、岡山では複数の保育者養成校での教育活動に携わり、幅広い経験を積んでまいりました。本学では、学生の皆さんが自己表現を深め、社会で活躍できる力を育む支援を行いたいと考えています。また、教職員の皆様とも協力しながら、教育環境の充実に努めていきたいと思っております。微力ながら、より良い学びの場を提供できるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長代理 西中 久人

令和6年4月の人事異動により事務局に配属になりました。担当する主な業務は、学内規程等の整備や文部科学省等への各種届出、先生方の研究費に関

する事務などを担当しています。

これまで福祉や広報などさまざまな部署を経験してきましたが、学校事務の仕事は初めてのため、不慣れな点も多く、職場の皆さんに助けられながら仕事に取り組んでいます。

学生の皆さんにとって充実した学生生活を送ることができ、また、卒業しても倉敷市立短期大学を母校として誇りに思ってもらえるよう、微力ながら学校運営に携わっていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学生部副主任 岡本 亜弓

令和6年4月の人事異動で学生部に配属となりました。主な業務は、時間割変更等の対応や、授業料等の収納管理、非常勤講師の方々への対応等です。私自身、大学に通った経験がなく、学生さんたちが大学生活を送るために必要な具体的な手続きや、サポートがどんなものなのか最初は全く想像が付きませんでした。

業務が始まると、各種提出物の受付や申請手続きなど、様々な窓口対応で、その都度学生さんたちへのサポートが必要になることを知りました。

私自身まだまだ知識不足な部分も多いですが、学生さんたちが楽しく充実した大学生活を送ることができるよう微力ながら尽力していけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

□その他の異動（敬称略）

《退職》 令和6年3月31日付

保育士.....島田久美子

《転出》 令和6年4月1日付

事務局長代理.....岡 賢二

学生部主任.....梶谷 恵子

事務局会計年度任用職員.....佐々木康江

事務局会計年度任用職員.....山口 陽子

図書館会計年度任用職員.....河村 岬

《新任》 令和6年4月1日付

保育士.....熊代 咲

保育士.....藤田 彩花

事務局会計年度任用職員.....福田 順子

学生部会計年度任用職員.....西原 和代

図書館会計年度任用職員.....上田 美香



□編集後記

大変お忙しい中、原稿をお寄せくださった方々にお礼申し上げます。倉短の情報をこれからも発信していきたいと思っておりますので、同窓会の皆様のご意見・ご感想・ご要望や近況報告等お待ちしております。